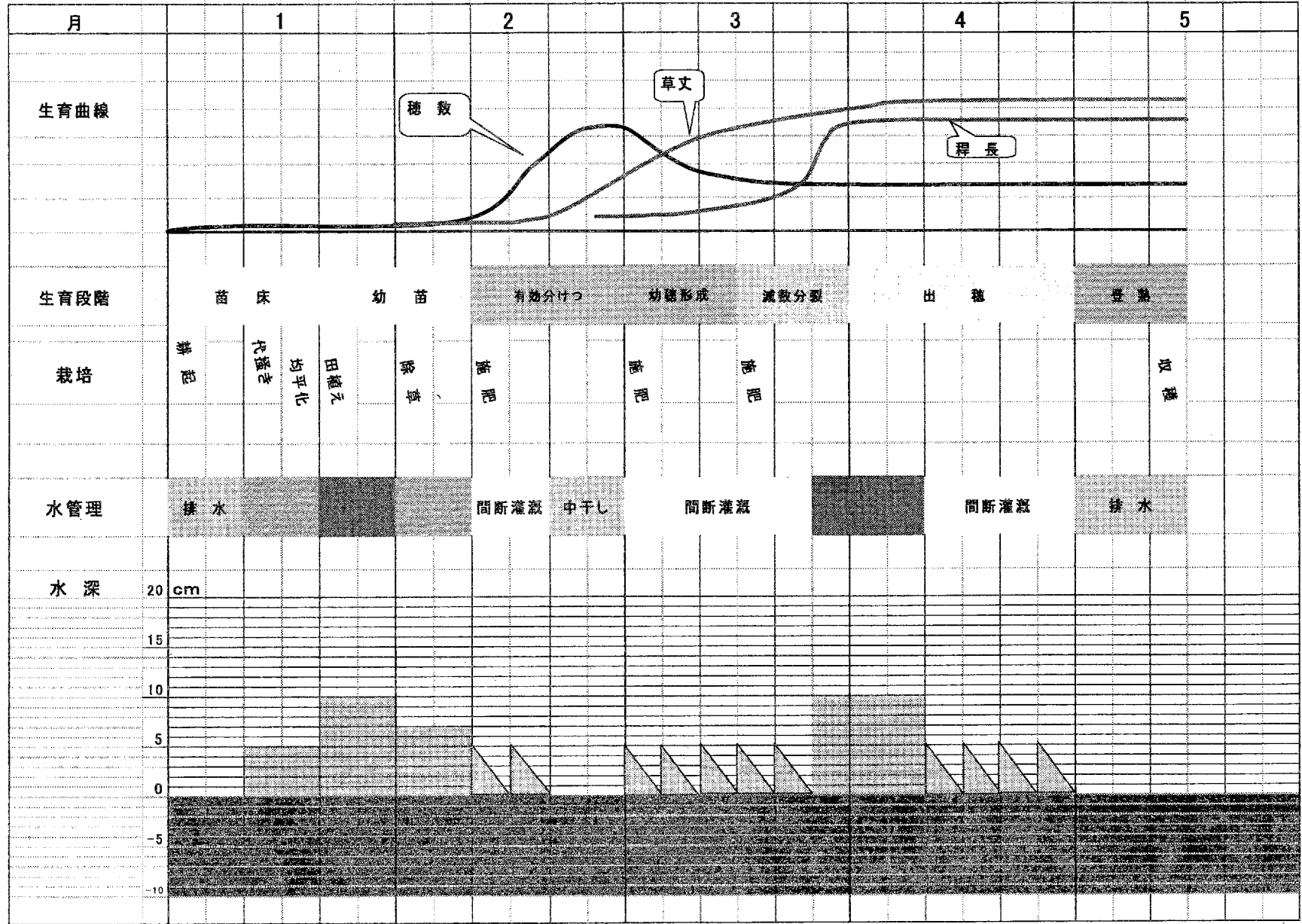


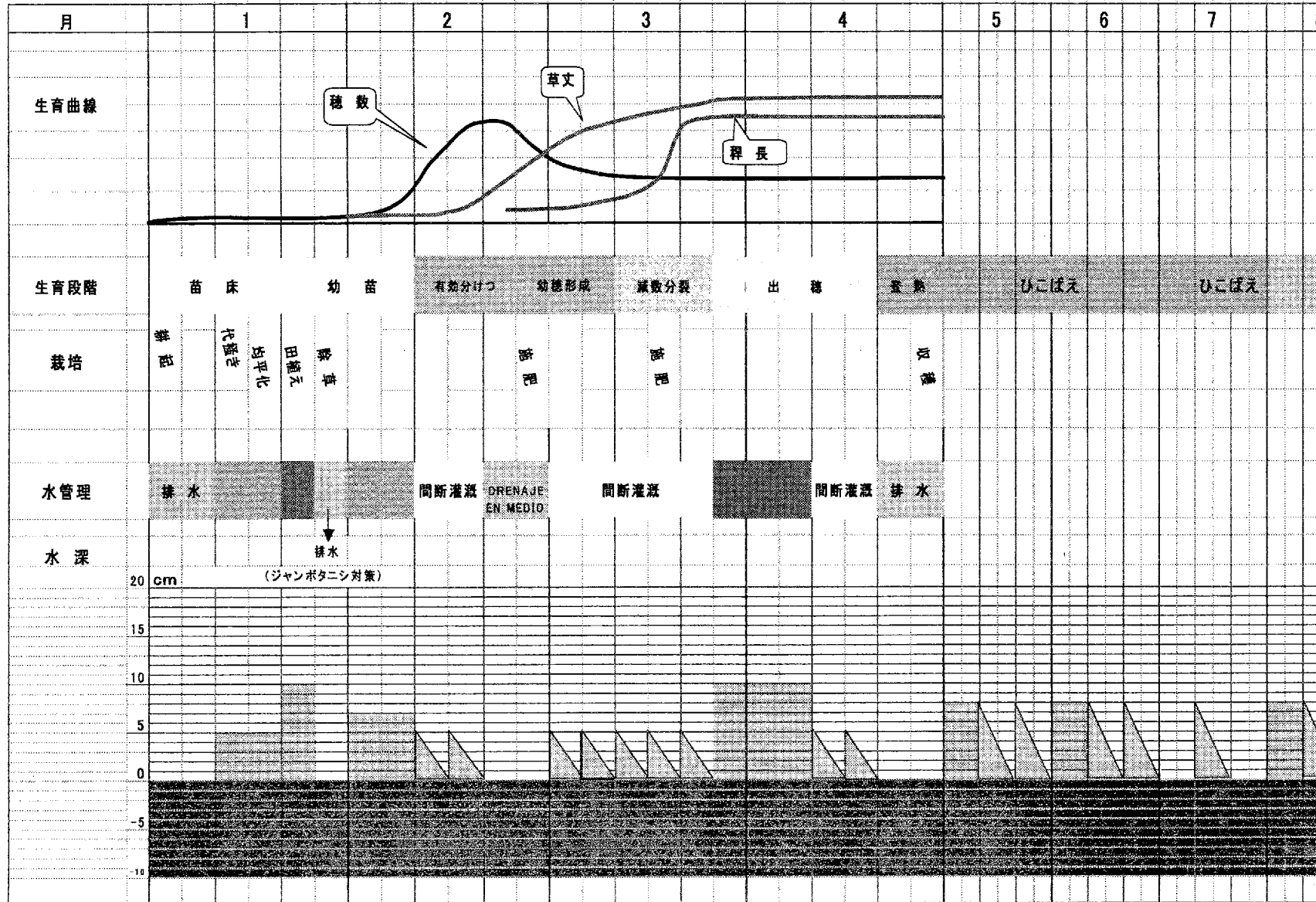
生育ステージと水管理(日本)



5. 生育ステージと水管理 (日本—ドミニカ共和国比較)

生育ステージと水管理(ドミニカ共和国)

No.1



6. 稲作栽培関連参考資料

葉面散布剤・防除剤

1) 推奨されている葉面散布剤

商品名	タレア当たり
Cytozyme Zinc	20-30cc
Quelato do Zinc	15-20cc
Sulfato do Zinc	20-40cc
MAP cristalino	40-80cc
Nitrato Potasio Crist	50-100cc
Nutriferquido 20-20-20	50-100cc
Micofer-10	25-50cc
Poiy-K	50-100cc

2) 防除剤

防除 1回目

商品名	1タレア当たり
MANZATE,MANCOZEB	100g
TOPSIN	60g
BASUDIN	60cc
BIONEX	8cc
MAP	45g
SULFATO ZINC	15g
K-TIONIC	20cc

3回目

商品名	1タレア当たり
WEST-AGROMYL	60cc
BRAVO75	100g
BIOZYME TF	30cc
BIONEX	8cc
POLY-K,Nitorato do Potasio	45g
CYTOZYME MULTIMINERAI	40cc

2回目

商品名	1タレア当たり
NUVACRON,MDT	60cc
CALIDAN	60cc
TOPSIN	40g
BIONEX	8cc
POLY-K,NITRATO POTASA	45g
MICROFER-10	25g
K-TIONIC	20cc

4回目 (出穂時)

商品名	1タレア当たり
TOPSIN	40g
MERTECT	20cc
BASUDIN	60cc
BIONEX	8cc

稲作振興計画（2001～2005）

農務省稲作振興局パンフレットより(2001年3月)

稲作振興局はドミニカ共和国の稲作地帯で近年損害を与えている未解決の問題について理解を示しており、(中略)農務省は稲作振興の近代化のため、必要な投資を行う予定で、これにより生産を刺激し、2005年の国際的な市場の自由化を考慮した劇的な変化に対応した能力を持たせるものです。

1) 2001～2005年の米の需要表

年	人口	1人の 年間消費量	全人口 年間消費量	備蓄量	全需要量
2001	8,722,886	99.40	8,670,548	1,445,091	10,115,639
2002	8,914,790	99.21	8,844,363	1,474,060	10,318,423
2003	9,110,915	99.04	9,023,450	1,503,908	10,527,358
2004	9,311,355	98.88	9,207,067	1,534,511	10,741,578
2005	9,516,205	98.78	9,395,349	1,565,891	10,961,240

単位：1人の年間消費量はリブラ（1リブラ約460g）

：その他はキンタール（1キンタール約46kg）

2) 2001～2005年の稲作振興計画における目標収穫面積、収量、単位収量

	目標収穫面積	収量	単位収量
2001	1,775,488	8,812,931	4.96
2002	1,778,080	9,303,705	5.23
2003	1,778,980	9,926,541	5.58
2004	1,811,040	10,803,648	5.96
2005	1,824,760	11,868,177	6.50

単位：面積はタレアその他はキンタール

3) 稲作振興計画の内容

(1) 生産者に対し中期間の融資

(2) 優良品種の確保

(3) 水稻種子確保計画の推進

(4) 生産振興部施策として

①低予算でのインフラ整備 ②ジャンボタニシの恒久的防除 ③ネズミの恒久的防除

④技術補完研修の実施

ドミニカ共和国における水稻品種

項目	フマ57	フマ58	ISA40	フマ66	フマ67	プロセキサ4	アンバール	クリスタル100
交雑品種	Nilo 1 IR8	IR8 TB91	CICA4 IR665/TETEP	Taichung204 Chianung14	フマ62 フマ64	tanioka10 から選抜		
栽培期間(日)	150-155	155-160	140-145	125-130	140-145	160-165	100?	
草姿	semierecta	semierecta	semierecta	semierecta	semierecta	semierecta	erecta	erecta
草丈	80-85cm	90-95	88	105-110	90-95	125-130	85	90
m ² 当り穂数	320	288	304	240	288	272		
1穂当り粒数	167	172	144	170	163	172		
成熟度	86%	90	88	87	88	89		
1000粒重	28g	30	26	28	29	29	28	22.6
ha当り収量	8000-9000	8000-8500	6000-7000	6000-7000	7000-8000	6000-7000		
歩留まり率	58%	58	58	60	57	59	58	
食味	excelente	excelente	excelente	地方では低	excelente	地方では低		
病気の抵抗性								
いもち病	中	中	中	中	中	中		
紋枯れ病	強	中	中	中	中	中		
ごま葉枯病	中	中	中	中	弱	中		
すじ葉枯病	中	中	中	強	中	中		
白葉枯病	強	中	強	中	中	中		
着色米	中	中	中	中	中	中		

7. 水利組織について

1. リンコンダム水利組合連合体について

リンコンダム水利組合連合体は La Vega (ラベガ) 県のヒマ・アバホ村に設置されていて、2000年4月6日に設立された。リンコンダム水利組合連合体に、かんがい施設管理を移行する協定は水利庁と水利組合連合体の間で2000年6月21日に結ばれている。

リンコンダム水利組合連合体は、3組合から構成されていて、組織図は図-1、構成組合員数等は、表-2のとおりである。水利組織の概要については、既に事前調査団報告書 p14 に詳述されていることから、本報告においては、聞き取り調査においてプロジェクト実施上、重要と思われたことについて報告する。

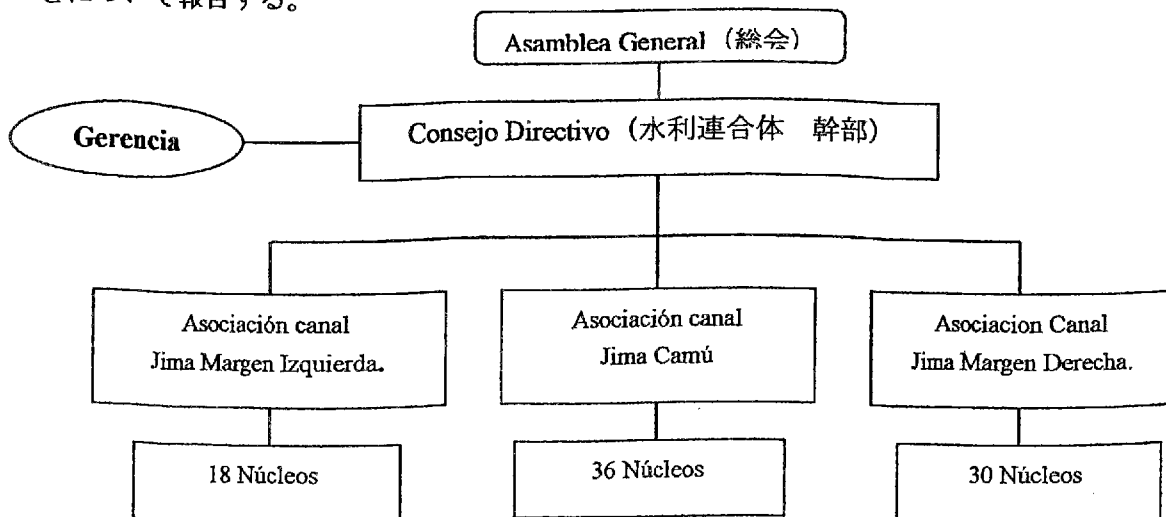


図-1. リンコンダム水利組合連合体の組織図

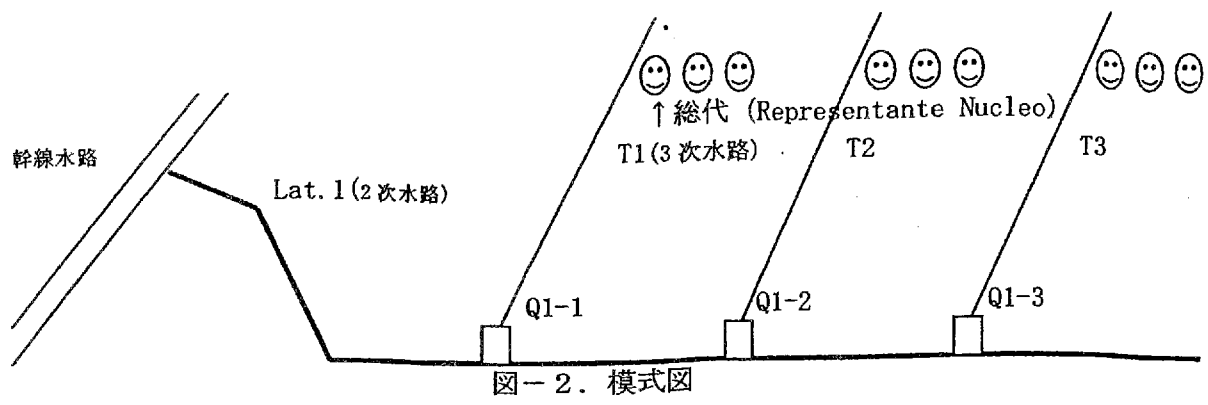


図-2. 模式図

	組合	Nucleos	Usuarios	Cultivo	Area (ha)
ヒマ右岸組合	1	30	747	Arros	3,094
ヒマ左岸組合	1	18	218	Arros	1,395
ヒマカム組合	1	36	492	Arros	2,945

表-2. 水利組合連合体の組合員数 (2001.9.5 現在)

2. 組合役員等の選出について

(1) 日本の土地改良区の総代にあたる Representante Nucleo (=各3次水路毎の水利グループの代表者)の選出方法について

- 1) 水利庁の地方かんがい事務所の担当者が、Nucleo 地区毎に召集する。
- 2) 検査係が出席者 50%を確認する。50%未満の場合は後日延期となる。
- 3) 選挙によって、次の3名の総代が選ばれ各々業務を担当することになっている。

<ol style="list-style-type: none"> 1. かんがい用水を配分を担当する者：1名 2. かんがい施設の清掃を担当する者：1名 3. 補佐する者：1名 	}	総代 (Representante Nucleo)
---	---	---------------------------

※2年に一度選挙があり、1回のみ再選がある。最長4年延期ができる。

(2) 組合役員(Asociacion)の選出について

水の法律 5852 に記載がある。各3次水路ブロックに Nucleo と呼ばれる3次水路毎の水利グループがある。組合役員を選出は、まず、Nucleo 地区の代表者が1名選ばれる。ヒマ左岸地区組合の場合、18人の中から以下の9人の役員が選ばれている。選出方法は、代表者18人内の協議により決められる。

1. Presidente (組合長)
2. Vicepresidente (副組合長)
3. Secretaria (書記)
4. Tesorero (経理)
5. Sec. Organizador (組織)
6. Sec. Presa y Propaganda (広報)
7. Vocal (役員)
8. Vocal (役員)

9. Vocal (役員)

また、組合役員 (Asociacion) の業務内容は以下のとおり。

- 1) 2次水路以降をかんがい用水の配分計画
- 2) かんがい地区の工事計画
- 3) 定例総会の開催
- 4) 組合 (Asociacion) が、定例総会で、農家の意向を聞きながら予算を計画し、水利費を面積割と作物で決めている。
- 5) 予算計画
- 6) 農家台帳の更新

(3) 水利組合連合体の幹部 (Consejo Directivo) の選出について

現在、リンコンダム水利組合連合体の執行委員 (Consejo Directivo) は7名であり、各々の組合役員 (Asociacion) の Presidente (理事)、Vicepresidente (副理事) 及び Secretaria (書記) から構成されている。理事長等の各々の業務内容については、リンコンダム水利組合連合体規約による (別添資料参照)。

1. Presidente (理事長)
2. Vicepresidente (副理事長)
3. Administracion general (総務)
4. Secretaria (書記)
5. Tesorero (経理)
6. Sec. Organizador (組織)
7. Sec. Presa y Propaganda (広報)

3. 現状、水利組合の問題点

リンコンダム水利組合連合体は、ヒマ・カム地区及びヒマ左岸、ヒマ右岸地区を併せて 84Nucleo 地区あるが、27Nucleo 地区 (Asociacion の役員構成員数が 9名×3地区=27名) からしか組合役員が選出されていない。よって、定例会議を開催しても 27Nucleo 地区しか関係がなくなることになり、総ての Nucleo 地区に定例会議での発言権があるわけではない。ある農家の方が、「総代 (Representante Nucleo) に意見 (苦情) を言っても自分の地区の総代が定例会議に出席できないため、自分の意見が組合には伝わらない。組合組織への関心もそれほどない。」との発言があった。

一方、他のかんがい地区であるマオ地区 (54Nucleo 地区) では、総ての Nucleo 地区から組合役員が、選出されることとなっている。ドミニカ国内の水利組織の内、マオ地区が、組織として順調に機能していると言われる理由は、このあたりにもあると予想される。

水利組合連合体の理事長等、幹部 (Cosejo Directivo) の総会は、15日毎に会議するよう水利庁が指導し、実施されている。

組合役員 (Asociacion) も 30日毎に定例会議を実施するよう水利庁が指導しているが、調査の結果、ほとんど開催された実績はなく、このことが、3次水路毎の水利グループ単位まで組合の情報は伝わらない原因であるとともに、水管理、水路等の施設維持管理が行われない状況を作っていると考えられる。

また、組合役員までの業務内容は、規約に記載されて明確にされているが、総代の業務については、明記されたものはなく、いま一つ明確になっていないとともに、総代を指名していない地区、あるいは指名しているが、実際、本人がわかっていないケースもあることが調査により判明した。